

1 第24回参議院議員通常選挙

第24回参議院議員通常選挙は、平成28年（2016年）6月22日に公示され、7月10日に執行された。

今回の選挙は、平成27年の公職選挙法の一部改正（鳥取県選挙区と島根県選挙区、徳島県選挙区と高知県選挙区の合区、宮城県、新潟県及び長野県選挙区の定数各2減、北海道、東京都、愛知県、兵庫県及び福岡県選挙区の定数各2増による定数較差是正）に伴い、鳥取県・島根県及び徳島県・高知県選挙区の改選数が合区前より各1減、宮城県、新潟県及び長野県選挙区の改選数が各1減、北海道、東京都、愛知県、兵庫県及び福岡県選挙区の改選数が各1増で行われた。また、平成27年の公職選挙法等の一部改正により、選挙権年齢を満18歳以上に引き下げて行う初めての国政選挙となった。

比例代表と選挙区を合わせた改選数121に対して389人が立候補し、与党（自民、公明）が経済政策「アベノミクス」への支持等を訴えたのに対し、野党4党（民進、共産、社民、生活）は全ての1人区

に統一候補を擁立して改憲阻止や「アベノミクス」の限界などを訴え、選挙活動が行われた。

投開票の結果、自由民主党は55議席、公明党は14議席を獲得し、それぞれ議席を増やした。また、おおさか維新の会も改選議席を上回る7議席を獲得した。これにより、改憲に前向きな勢力が、非改選と合わせ、改憲の発議に必要な3分の2を超えたとして注目されることとなった。一方、日本共産党は改選議席を上回る6議席を獲得したものの、民進党は32議席、社会民主党及び生活の党と山本太郎となかまたちは各1議席にとどまった。また、日本のこころを大切にする党及び新党改革は議席を得なかった。

今回の投票率（全国平均）は、比例代表54.69%、選挙区54.70%となり、前回の通常選挙より、比例代表で2.08ポイント、選挙区で2.09ポイント上回った。

各党派別の獲得議席数は以下のとおりである。

党派	獲得議席数
自由民主党	55
民進党	32
公明党	14
おおさか維新の会	7
日本共産党	6
社会民主党	1
生活の党と 山本太郎となかまたち	1
無所属	5
改選数計	121

（出典）総務省自治行政局選挙部「第24回参議院議員通常選挙結果調」より作成